

阪神高速道路株式会社入札監視委員会(2026年度第1回)審議概要

開催日及び開催場所	2026年6月3日(水) 阪神高速道路株式会社会議室		
委員	古田 均 (大阪公立大学 特任教授) 武田 邦宣 (大阪大学 理事・副学長) 森 有美 (神戸中央法律事務所 弁護士)		
審議対象期間	2025年10月1日～2026年3月31日(阪神高速道路株) 2025年4月1日～2026年3月31日(グループ会社)		
抽出案件	6件(総件数175件)		
(内訳)	工事	一般競争(政府調達協定対象)	1件(総件数1件) (案件①)
		一般競争(政府調達協定対象外)	1件(総件数10件) (案件②)
		技術提案・交渉方式	0件(総件数0件)
		指名競争	0件(総件数0件)
		随意契約	1件(総件数4件) (案件③)
	建設コンサルタント業務等		1件(総件数46件) (案件④)
	物品等の購入等		1件(総件数59件) (案件⑤)
	グループ会社外注		1件(総件数55件) (案件⑥)
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問		回答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	意見・勧告なし		

意見・質問	回 答
【案件①】 「トンネル防災設備更新工事（2025-新）」 ・ 1社だけが入札していることに、不自然さがないものか？ 【案件②】 「舗装補修大規模修繕工事（2025-4-湾岸）」 ・ 費用が一番安くて技術点が高いのに、落札できてない社について、釈然としないがいかか？ ・ 品質確保体制評価点が低い評価点の企業が見受けられるがどう評価しているのか？ 【案件③】 「正蓮寺川立坑用吊金具設置工事」 ・ このような工期が迫っている工事はよくあるのか？ 【案件④】 「2026 年度淀川左岸線延伸部外調査設計資料整理等業務」 ・ 技術評価点のうち、守秘性及びコンプライアンスの確保についてこのように点差がある理由は？ 【案件⑤】 「社屋清掃等業務（2026-管理本部（大阪地区））」	・ 今回の工事の範囲がトンネルの防災設備となり、トンネルの長さと交通量によって、等級が異なります。本トンネルは等級が一番高い設定となっており、今回は工事にあたって諸条件もあり他社が見送ったため、結果として1社だけの入札となりました。 ・ 当社では加算方式を採用していることによるものです。 技術評価と価格評価の配点について改善の余地を確認したい。 ・ 入札価格が調査基準価格を下回ると入札価格金額によって、減点される仕組みです。調査基準価格から下回ると品質も低下するという想定によるものです。 ・ 減多になく、河川管理作業予定にも合わせた施工が必要となったため。 ・ 適切に対応できている点もある一方で、これから対応予定との回答もあったため、点差がついたものです。

- ・ 人件費を加味した上で最高制限価格を設定していると思うが、落札価格はかなり低くなっている。これにより品質に影響はないのか？

【案件⑥】

「鋼桁等補修設計業務（2025-調査）」

- この契約は価格のみの競争か？

- ・ 落札価格は、過去の契約金額を踏まえた価格設定がなされ、企業努力によるコスト削減もなされていると確認しています。品質についても弊社社員が契約に基づく完了検査等を行うことにより適切に確認しております。

- ・ 3,000 万円以下の契約は、価格競争のみとなっております。

以上